

要望書（回答）

- ① 2014年度から始まりました、自家用車による年額9,000円の支給を受けられる通院補助は、透析患者の通院の多様性や実態に対応しているものであり、本制度を維持して頂いている事について、心より感謝申し上げます。苫小牧市福祉のまちづくり条例の第13条にて「市は、福祉のまちづくりに関する施策を推進するため、必要な財政上の措置を講じるよう努めるものとする。」とあります。最近では、世界情勢の不安定化等によりガソリンの価格が高騰しています。透析患者の年間の通院回数は156回ほどであり、通院距離を往復で6キロとした場合、直近の価格であるレギュラーガソリンが180円と仮定すると、年間で16万8千円を要します。この額の1割である、1万6,800円の補助額を目安に、自家用車の通院補助額の適正化について再度、検討頂けますよう、お願い申し上げます。

【回答】（福祉部障がい福祉課 担当）

透析の通院を自家用車で定期的に通っている方は多く、重度心身障害者通院交通費助成は必要な助成であると認識していることから、制度の維持に引き続き努めていきたいと考えています。

なお、補助額についてですが、現時点ではガソリンの価格が減少することもあることから、情勢を注視しつつ、今しばらくは現行の内容のまま実施していきたいと考えています。

- ② 臓器移植は透析患者が透析を逃れる唯一の手段です。北海道では現在、573 人の腎臓移植希望者（臓器移植ネットワークの公表データ）が待機しています。今年に入ってから 10 月までの腎臓移植手術の実績は 2 件でした。全国と比べ、移植件数が極端に少ないことに加え、移植実施までの待機年数が平均 20 年以上と、たいへん長い状況が続いています。この問題に対し、苫小牧腎友会では、港まつりにて、保険証や免許証の裏に意思表示の記載をお願いする声掛け活動を行っております。できるだけ多くの方に臓器移植の現状を知って頂くために、何らかの手段によって、移植の現状について広報して頂きますよう、検討のほど、お願い致します。

【回答】（健康こども部健康支援課 担当）

臓器移植の普及啓発については、厚生労働省・日本臓器移植ネットワークのリーフレットを本市健康支援課の窓口置き、市民の皆様へ周知しております。また、毎年 10 月の臓器移植普及月間に合わせて市役所の庁内放送で周知を図っているところで

す。また、臓器移植の現状や重要性、臓器提供意思表示カード記入につきましては、広報とまこまいやフェイスブック、市公式LINE等を活用し、今後も広く周知を図ってまいります。

- ③ 昨年度は、iPS 細胞研究の成果を市民へ啓蒙するための講演会を実施して頂きました。このことについて、会を代表して、心から感謝申し上げます。iPS 細胞による再生医療は、我々が透析から免れる有力な手段のひとつであることから、苫小牧腎友会としては、今後も京都大学の iPS 細胞研究を応援し続ける所存です。苫小牧市におかれましても、研究活動を下支えするような広報活動をお願いしたく存じます。

【回答】（健康こども部健康支援課 担当）

現在、京都大学 iPS 細胞研究財団において、医療用 iPS 細胞を作製し、保存する計画が進められているため、日本骨髄バンクでは「医療用 iPS 細胞ストック構築に関する研究」に協力しております。また、この研究にご協力いただけるドナーの方は、拒絶反応が起きにくい HLA 型の組み合わせを持つ方となるため、本市では一人でも多くの方にドナー登録いただきたいとの思いから、骨髄バンクの普及啓発に取り組んでおりますので、このような取り組みを通じ、iPS 細胞にかかる研究をご支援してまいりたいと考えます。

- ④ 苫小牧市の福祉のまちづくり条例第 11 条には「市は、高齢者、障害者等に関し、災害時における安全性を確保するため必要な措置を講じるよう務めるものとする。」とあります。災害対策の一環として、災害時の要支援者の確認と名簿作成の活動をして頂いていることについて感謝申し上げます。要支援者を把握することは、災害対策の第一歩として意義があることで、今後も本活動を継続して頂けるよう、お願い申し上げます。

私達の透析には、透析設備とスタッフ、透析機械を動かす電力を得るための予備の発電機に加え、1回の透析につき1人あたり120Lと、大量の浄化された水が必要です。透析を行うには、これらの確保が必須です。令和2年の要望書提出の際に、市内の透析施設の代表者による会議が行われたと聞きました。今年度の代表者会議の開催状況や、会議の結果等について情報公開をして頂けますよう、お願い致します。

【回答】（健康子ども部健康支援課 担当）

透析連携ミーティングにつきまして、今年度においても現時点では開催されておられませんので、開催の折には、改めてお声掛けさせていただきます。